

Smile & Heart

「笑顔」と「まごころ」
あふれる病院

2019 summer 夏号

ご自由にお持ち帰りください

特集

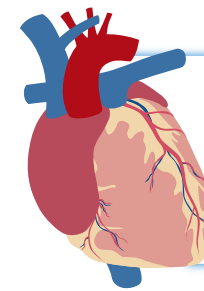
循環器内科の 先進的な診療

もっとリスクを低く
もっと治療時間を短く。
高齢の方にも優しい
安心の治療を。



特集

循環器内科の先進的な診療



取り扱う 主な疾患

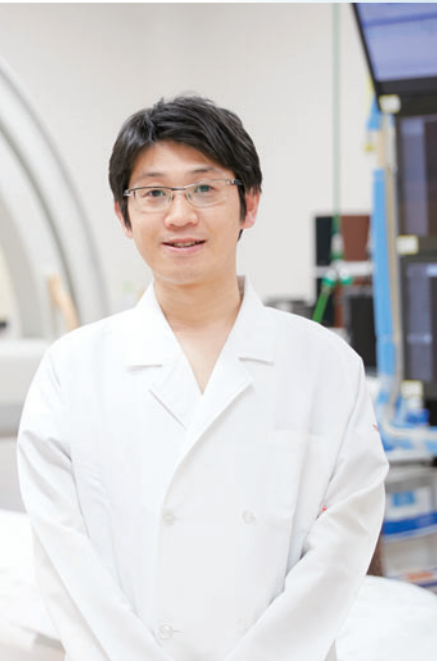
- 心筋梗塞・狭心症などの
虚血性心疾患
- 心臓弁膜症
- 心不全
- 不整脈
- 心筋症
- 大動脈および末梢動脈疾患 など

病状安定後は、地域のかかりつけ医と密に連携し、質の高い慢性疾患フォローアップを行っています。

心筋梗塞・心不全

循環器内科 医長
山本 大

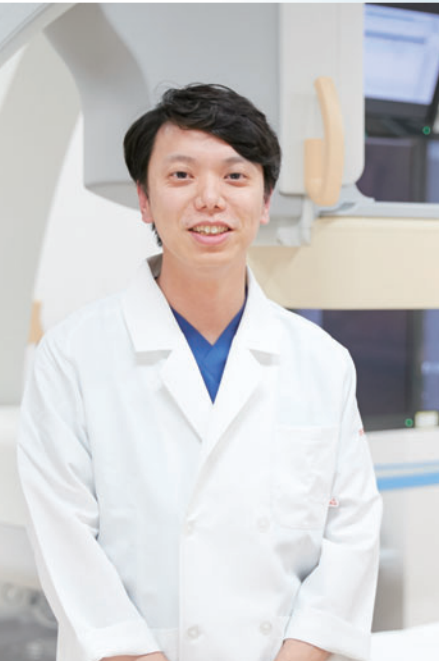
冠動脈の狭窄に対して
最善の治療法を選択。



不整脈

循環器内科 医長
上久保 陽介

新しい医療機器を活用し、
患者さまに優しい治療を。



サルコイドーシス

循環器内科 医長
三宅 裕史

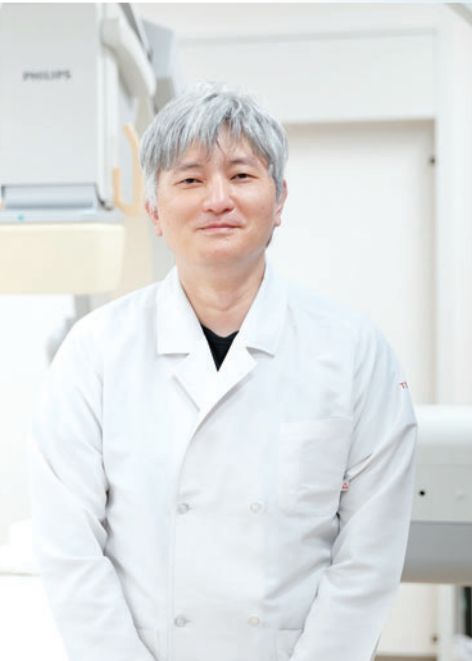
PET検査を活用して
困難だった診断を可能に。



補助人工心臓

循環器内科 医長
伊藤 唯宏

心臓移植待ちの患者さまを支える
補助人工心臓に「安心」を。



冠動脈に狭窄が見つかった場合、従来は血管拡張させるステント治療などが一般的でしたが、治療不要の狭窄もあることが最近の研究で明らかとなりました。当院ではFFRという新しい検査法によってステント治療の可否を判断し、ときには薬物治療で経過観察するなど、できるだけ負担の少ない治療法を選択します。



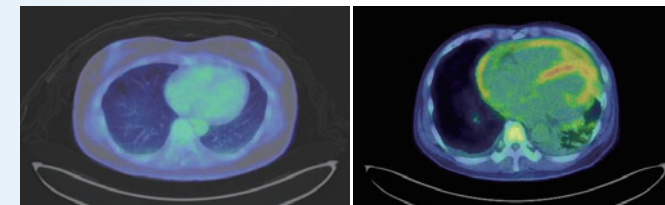
インターベンション治療

心房細動をはじめとする不整脈に対するカテーテルアブレーション手術を受ける方が年々増加しています。こうした患者さまの負担をできるだけ少なくするため、手術時間の短縮や放射線被ばくの低減に努めています。また、リードを介さず心臓に電気刺激を送ることができる超小型ペースメーカーを、適応となる方に積極的に活用し、患者さまに優しい治療を追求しています。



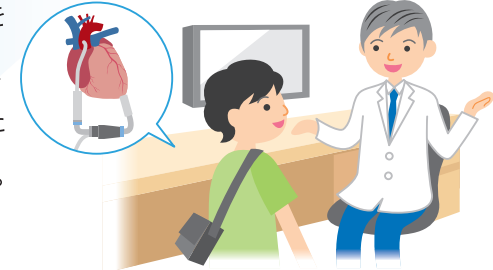
超小型のペースメーカー「Micra(マイクラ)」

厚労省の指定難病の1つであるサルコイドーシスは、診断が難しいケースが少なくありません。当院では、PET検査(陽電子放出断層撮影)を活用し、サルコイドーシスなど心筋症の診断や経過観察ができる体制を整えました。今後は、心エコー検査の技術をさらに向上させて診療のレベルアップを続けます。



正常な心臓(左)、サルコイドーシスと診断された心臓(右)

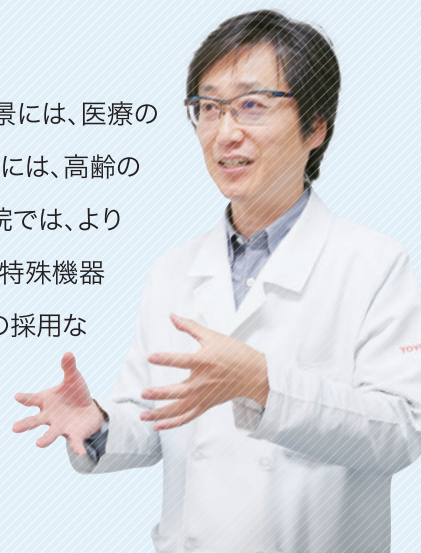
東海地区で心臓移植の症例数が増えると共に、移植待機のため補助人工心臓(VAD)を装着される患者さまを地元でもサポートできる体制が求められるようになっていきます。そこで、西三河地区では唯一、VADを装着した患者さまを診療できる管理施設を目指し、医師やコメディカルが研修を積極的に受け、地域に役立ちたいと考えています。



高齢の方にも負担の少ない治療を追求しています。

心筋梗塞や狭心症などを発症する高齢の方が増えていますが、その背景には、医療の進歩で長生きできるようになったことがあります。今後、健康寿命を延ばすには、高齢の方にも負担や合併症の少ない治療を提供することが大切です。そこで当院では、よりリスクの低いインターベンション治療を追求するほか、時間短縮を目指し特殊機器を利用したカテーテルアブレーション治療、リード不要のペースメーカーの採用など、先進的な治療も取り入れながら地域医療に貢献していきます。

循環器内科 科部長 小林 光一



循環器内科を支えるスタッフ

血管造影、X線撮影、CT、核医学検査など循環器内科と密に連携する部署です。画像診断を通じて、心臓や血管の機能評価などを担当します。常に治療の先を読みながら、医師がスピーディーに治療できるように心掛けています。

診療放射線技師
澤 貴司



病棟ではモニター管理が必要なケースが多いのですが、ベッドサイドでも患者さまを見守り、異常所見の早期発見に努めます。また、ご家族や医師と連携し、生活も含めた看護を通じて患者さまのQOLの維持や向上を目指します。

西3病棟 看護師
飯島 神奈



新たに導入したQFRはセンサー付きワイヤーを血管に挿入する必要がなく、検査のリスクを低減できます。このように医療機器が進歩しているので、機器管理業務(ME)を通じて安心安全の医療をサポートしていきたいです。

MEグループ(臨床工学技士)
森 紀成



職員全員が「真の患者さま第一」の病院を追求します

トヨタ記念病院では、中央棟の建て替えを含めた真の病院再構築計画「ReBORN(リボーン)」を進めています。

2021～22年度ごろの竣工を目指し、トヨタ看護専門学校旧校舎などを含む病院敷地内に、この地域の緑あふれる環境に調和する地上9階・地下1階の建物を新築します。新病院は、外来診察から検査、手術、入院まで、すべての診療機能を集約します。さらに新病院の竣工後、現在の外来棟を全面改修し、健診センターや病院職員の研修施設を拡充します。

現在のトヨタ記念病院(中央棟)は、トヨタ自動車創立50周年の1987年(昭和62年)に開院しました。以来、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、救命救急センター、愛知県がん診療拠点病院、地域医療支援病院などの指定を受け、地域の皆さまが質の高い医療を安心して受けられる体制の確立に努力してまいりました。最近では、入院せずに抗がん剤の治療を提供する化学療法室を拡充したり、サイバーナイフM6、ダビンチ、トゥルービーム

などの最新機器を導入し、患者さまに優しいがん治療へと大幅に改善しました。

急速に進む超高齢化に備え、国は病院の機能分化と連携を推進しています。また、医療技術は日進月歩で高度化しています。ReBORNにより、当院は今まで以上に環境の変化にいち早く対応できる体制を整えます。そして、地域の医療機関との役割分担・連携をさらに深めながら地域の医療水準の向上に寄与することが、当院の使命と考えます。新病院には免震構造を取り入れ、BCP(事業継続計画)に基づき災害時にも医療を続けられるよう整備します。

ReBORNでは、設備面だけでなく、ホスピタリティや安全、カイゼンといった病院職員の意識も新たに、「真の患者さま第一の病院」「笑顔とまごころあふれる病院」として、末永く信頼される基盤を築く決意です。工事中は当院ご利用の皆さま、地域の皆さまには何かとご不便・ご迷惑をおかけしますが、職員一丸となって全力を尽くしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

駐車場混雑のお詫び

ご利用の皆さまには、駐車場が混雑しご不便・ご迷惑をおかけしております。誠に申し訳ございません。皆さまの安全確保を最優先として、駐車場の数を確保しつつ工事を進めてまいります。現在よりも少し離れた場所に駐車場を移設する可能性もあり、工事に伴う各種情報は今後、ホームページや院内掲示などで発信してまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。



トヨタ記念病院 病院長
岩瀬 三紀

ReBORNまでの
特設サイトはこちら



「Smile in Heart」 心にスマイルを！

「CS向上活動賞」を受賞したときは「自分が？」と驚きましたが、このような賞をいただけたことを本当に光栄に思います。普段から患者さまやご家族の思いを少しでも汲み取れるよう、じっくり耳を傾けながら診察を行いたいと考えていて、こうした姿勢は、当院の各科の先生方から教わりました。じつは、そんな患者さまとの会話から、病気の背景が見え、診断につながることも少なくありません。

私が学生のときに他界した父は地元の町医者でした。父の言葉で忘れられないのが「患者さまに感謝されているようではだめだ」。重い病気から救うことも大事だけれど、重症化を未然に防ぐ、あるいは将来の発病を予防できれば、感謝されなくても、何事もなかったように幸せな日常生活を送れる。という意味だったのですが、幼い私にはあ



1996年入職。10年勤務後、他院で経験を積み、2014年再び当院へ。日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会指導医。CS(顧客満足)向上の取り組みが評価され、2018年院内表彰制度「CS向上活動賞」受賞。

まり理解できませんでした。医師となつた今なら、父の思いがよく分かります。

父の時代と比べると医学は格段に進歩し、例えばかつて開腹切除しか方法がなかった胃がんや大腸がんも、内視鏡で早期発見すれば体への負担が軽い早期治療が可能です。だからこそ、常に精度の高い医療が求められており、これからも精進を怠らず邁進していきたいと思っています。

当院のスローガンは「Smile & Heart」ですが、父に「真剣勝負の場で笑顔を見せるな」と教わったせいか笑顔が得意ではなく…。でも患者さまの治療経過が良いと心では思いきり笑顔になっているので、私の場合は「Smile in Heart」かもしれません(笑)。

職場のスタッフから一言

どんな状況でも患者さまを尊重し、しかも誠実に真摯に対応する姿がすばらしい先生です。「CS向上活動賞」の受賞に納得です！

経営スタッフからこんにちは

トヨタの強みを活かした病院づくり

「超高齢社会」を迎えるにあたって、皆さまに「この町に住んでいて良かった」と思っていただけよう、当院は様々なチャレンジを進めております。中でも強力に推し進めているのが、トヨタの強みである「カイゼン」と「人づくり」です。当院のスタッフ全員が、各自のカイゼンに向けて全力を尽くし、その一つひとつが「実」を結ぶことで、病院をより強くするとともにスタッフ自身の人生を充実させ、本当の意味での「笑顔とまごころあふれる病院」が実現すると考えています。

そのために昨年から“モノづくりのプロ”に来てもらい、トヨタ生産方式に基づく職場カイゼンを強力に進めながら、当院スタッフがカイゼン手法を熱心に学んでいます。また、今年はロボットなど先進技術の技術者も仲間に迎え、院内の搬送用ロボットの実験を開始しました。トヨタグループとの連携をさらに強化しながら、「未来の病院のあるべき姿」の具体化にチャレンジしていきたいと考えています。



「安全は医療の入口」をスローガンに活動中！



専任4人は看護師、理学療法士、放射線技師と多職種で構成。多角的な視点を強みに、組織の枠を越えて、医療安全に取り組んでいます。

グループカンファレンス



毎週開くカンファレンスでは1つの事例を深く考察するほか、各プロジェクトの進捗確認を行います。

救急カートや医薬品をcheck!

院内ラウンド



MEグループ(臨床工学士)と共同で医療安全の取り組みをチェック。困っていることがないかヒアリングもします。

管理状況をcheck!

【患者さまへのお願い】

患者さまに正しい処置を行うため、お名前と生年月日をご確認させていただきます。また、受診時や入院中は転倒を防ぐため、スリッパではなく「かかとのあるくつ」をご着用ください。



医療安全は病院全体に関わる重要なテーマです

私たちは、病院に潜む様々なエラーを未然に防止するため、病院職員向けの研修会や部署ごとのレクチャーを開くなど様々な啓発活動を行い、情報共有しています。もし、患者さまの安全を脅かすようなリスクの“芽”が発見されたときには、迅速な対応はもちろん、「現地現物」をモットーにリスクの真因を追求し、再発防止の徹底に努めます。

当グループが力を入れている活動の1つ「トライアングルの会」は、各部署からメンバーが集まる「裾野の広さ」

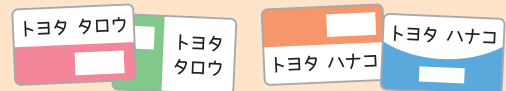
が特徴です。患者さまのお名前確認、転倒・転落の防止、医療現場の伝達エラーを防ぐ対策などについて議論を重ねています。また、月2回、当グループのメンバーが病棟や診療支援部門を巡回(ラウンド)し、安全を確保するルールがきちんと守られているか、エラーにつながる落とし穴(ヒヤリハット)がないか、しっかりとチェック。こうした地道な活動の積み重ねが、職員一人ひとりの医療安全への意識を高めると考えています。

(グループマネジャー 久田 達也)

Quiz

当院の患者さまの中で、
同姓同名は何組いる？

- ① 100組 ② 1,000組 ③ 5,000組



クイズの回答は次ページをご覧ください→

職場
自慢

風通しの良い「安全風土」づくりを
職場自らが実践！



「アンテナ高く、足取り軽く」という意識を常に持ち、他部署からの情報を基に毎朝ミーティングを実施しています。「安全は医療の入口」であることを心掛け、職種を越えて組織横断的に関わり、現場に寄り添うことを大切にしています！

患者さまやご家族からの疑問や不安にお応えするコーナー。第2回は、熱中症についてご紹介します。

梅雨が明ければ夏本番。9月下旬まで暑い日が続きます。夏特有の病気には、食中毒、夏バテ、手足口病、虫刺されなどいろいろありますが、誰もがかかる可能性がある重大な病気のひとつが「熱中症」です。基礎知識を身につけて、熱中症を防ぎましょう。

私たちがお答えします！

救急科
科部長
武市 康志



救急看護
認定看護師
鷺尾 和

Q₁ 熱中症ってどんな状態？

A 人間の体は、普段は汗をかくなどして、体温調節を行っています。しかし、気温・湿度や体調によって体温調節のバランスが崩れると、体温が上がり熱中症を引き起こしてしまいます。高齢者や乳幼児、糖尿病、下痢や寝不足がある方も、熱中症のリスクは高くなります。



Q₂ どんな症状が出るの？

A 熱中症のサインには様々な症状があります。

- めまい、立ちくらみ、顔のほてり
- こむら返り(手足の筋肉がつる、けいれんする)
- 体のだるさ、吐き気、頭痛
- 汗をかかない、または反対に大量の汗をかく
- 皮膚が熱い、赤く乾いている
- まっすぐ歩けない、呼びかけに反応しない
- 水分補給ができない

Q₃ 室内にいれば大丈夫？

A 閉め切った室内でも、気温や湿度が高ければ熱中症を引き起こすことがあります。扇風機やエアコンで室温を適度に下げましょう。

Q₄ 熱中症かも、と思ったらどうする？

A 熱中症が疑われる症状(Q2)が見られたら、まず涼しい場所へ避難し、体を冷やしましょう。氷嚢などがあれば首、脇の下、太ももの付け根を集中的に冷やします。また、経口補水液などで水分・塩分を補給しましょう。※ただし、呼びかけに応えない場合は、無理に水を飲ませたりせず、すぐに救急車を呼んで病院を受診してください。

※アルコール、コーヒーなどは利尿作用があり、別に水分を補給することが重要です。



Q₅ 熱中症を防ぐポイントは？

A ①環境 ②体 ③行動に対策が必要です。

- 環境: 屋内でも気温・湿度に目配りし、外出時には帽子をかぶる、日陰を歩くなどして直射日光を避けます。
- 体: のどがかわいてなくても、こまめに水分を取り、バランスの良い食事と睡眠を心掛けましょう。
- 行動: 長時間、暑さや日差しにさらされる場合は、こまめに休憩を取りましょう。天気予報をチェックし、無理のない活動予定を立ててください。暑くなりかけの時期が要注意です。



Quiz 「当院の患者さまの中で、同姓同名は何組いる？」の答え

答え: ③ トヨタ記念病院の診察券をお持ちの患者さまのうち、同姓同名は5,000組(約13,000人)もいらっしゃいます。間違いなどがないよう、お名前と合わせて生年月日も確認させていただきますので、ご理解をお願いいたします。

豊田東リハビリテーション病院

心臓外科医が開業、術後の心臓リハビリにも専門スタッフが対応

2019年4月に開院した「豊田東リハビリテーション病院」。院長の大島英揮先生は、名大病院やトヨタ記念病院で活躍された心臓外科の名医で、術後の心臓リハビリに対応できる専門施設が少ないことを気に掛けていました。「外傷や脳血管障害に対する運動機能のリハビリ施設は充実していますが、心臓リハビリは異なる専門性が求められるため開設をためらうケースが多い。それなら自分で立ち上げようと決意しました」と明かします。

心臓リハビリとは血圧や脈拍、心電図を見ながら行うリハビリのこと。「心臓リハビリテーション指導士」の資格が必要で、大島先生を含めて2名が取得しています。柱の少ない設計にこだわった開放的なリハビリ室では、常にスタッフが患者さまに異変がないか見守ります。大島先生は現在も週1回トヨタ記念病院で手術に立ち合うなど連携も深く、術後や通院が難しい患者さまを受け入れながら、急性期医療と回復期医療をシームレスにつなぎます。



院長
大島 英揮先生



3階のリハビリ室には、関節可動域を広げる「レッドコード」(左)、心電図モニターと関節への負担が少ない空圧式医療用マシン「HUR(フー)」(右)など充実した設備が揃います。



【住所】豊田市野見山町
三丁目88-26

【電話番号】0565-89-7700

【診療科目】心臓血管外科、外科、内科、リハビリテーション科

【診療時間】9:00~12:00 15:00~17:00 【休診日】土曜午後、日曜、祝日

みつわ会

新入社員へボランティアの力を発信

4月、新入職員研修でボランティア活動を体験してもらいました。新入職員の皆さんに、移動図書や花壇の手入れといったみつわ会の活動を知ってもらうとともに、ボランティア会員の「笑顔」や「思いやり」の姿勢を感じていただけたようです。フレッシュな新入職員と交流ができ、みつわ会会員も元気をもらいました。みつわ会は令和時代を会員75名で迎えることができました。和気あいあいと、楽しく活動しています。患者さま・ご家族さまが当院を利用しやすいよう、今後もボランティアとしてお手伝いさせていただきます。



ボランティア「みつわ会」会員を募集しています

【お問い合わせ】TEL 0565-24-7169 FAX 0565-24-7178 (担当: 吉田)

患者さまの 権利

- ① 最善の医療を受ける権利があります。
- ② 治療方法など自ら選択する権利があります。
- ③ プライバシーが保護される権利があります。
- ④ 診療情報の開示を求める権利があります。

患者さまへの お願い

- ① 医療安全の確保についてご協力ください。
- ② 病院内のルール、治療上の注意事項をお守りください。
- ③ お気づきの点、改善すべき点などについてご意見をお寄せください。
- ④ 教育や臨床研究にご理解をお願いします。

トヨタ記念病院 *Smile & Heart* 2019年夏号

発行日:2019年7月1日 発行:トヨタ記念病院 編集:人づくり・カイゼン推進本部

〒471-8513 愛知県豊田市平和町1-1 TEL 0565-28-0100(代) <http://www.toyota-mh.jp/>

【予約センター】☎0120-489-587

【予約受付時間】当日受診予約 8:00~11:30 翌日以降予約(1カ月以内)は11:00~16:00 ※診療券をお持ちの方はお手元にご準備の上で電話をおかけください。

【健診センター】TEL 0565-24-7153



トヨタ記念病院の
ホームページはこちら